

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

① 第37回知能ロボットコンテストフェスティバル 2025

(ア) 開催形態 主催 ロボット競技会実行委員会

共催 仙台市教育委員会、日本ロボット学会、東北学院大学産学連携推進センター

(イ) 期間 第一次予選 令和7年6月14日(土)

第二次予選・決勝 令和7年6月15日(日)

(令和4年度よりロボコン Jr は実施せず)

(ウ) 会場 仙台市科学館 2階特別展示室

(エ) 内容 「知能ロボットコンテスト」は多数の国内のロボット大会の中でも長い歴史をもち、人為的操作のない完全自律制御ロボットによる高度な競技大会である。大学教員、学生、有志によるボランティアをベースにした実行委員会によって運営されている(Intelligent Robot Contest <http://www.inrof.org/irc/>)。なお、小・中学生を対象にした小型自律走行ロボット「梵天丸」をベースにした競技会「ロボコン Jr」は令和4年度より実施していない。

(オ) 来場者数 781名



IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

② きのこ展

- (ア) 期 間 令和7年10月4日(土)～10月5日(日)
(イ) 会 場 仙台市科学館3Fエントランスホール
(ウ) 目 的

仙台近郊の野生キノコを食・毒を記して展示し、自然に親しみながら、キノコの正しい知識の普及と、毒キノコによる中毒防止に貢献することを目的とする。

(エ) 展示内容

仙台周辺の自生のキノコ類を対象として採集した自生キノコを、科や属ごとに分類、整理して展示した。展示に関しては、キノコの鮮度を保つように常に展示の入れ替えを行った。種名・属名・科名の名札を作成し、説明を行う解説員をおいた。会場の運営にあたっては、仙台キノコ同好会の会員が常駐し、展示の説明・会場整理、キノコの鑑定にあたった。市民の関心が高いキノコの放射線値について、東北大学と協力して調査している情報を開示した。東北大学木野康志氏による放射線値に関する講演会を行った。

- ・キノコ生体の展示
- ・栽培キノコの展示
- ・キノコの鑑定会
- ・冬虫夏草コーナー
- ・キノコのVTR放映
- ・キノコ写真の展示

(オ) 実 績

昨年に続き猛暑の影響により、秋キノコの発生が遅れたが、その分秋キノコとともに夏キノコも含めて例年以上に季節幅の広い多数のキノコを展示することができた。採集キノコ277種、栽培キノコ10種、計287種、冬虫夏草(標本)53点を展示した。市民の鑑定、相談件数は90件と多く相談が寄せられた。近年、こどもの関心も高いことから、こども限定のキノコスタンプラリーを行い、スタンプを集めた参加者にはガチャでプレゼント配布を行った。昨年度に引き続き撮影スポットとなるキノコオブジェを設置した。老若男女問わず多くの来場者でにぎわい、過去最高に近い、2024名の方に来場いただいた。来場者の多くは仙台市民であるが、市外や県外からの来場者もあり、全国的にみても野生キノコの実物展示数においては、最大級の展示会と言える。木野教授による講演会にも、活発な質問が出され、キノコと放射能に関する情報提供が効果的に行われた。



会場の様子



キノコ鑑定コーナーの様子



キノコオブジェの様子



栽培キノコの展示の様子



講演会の様子

IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

③ 第6回 仙台二宮杯 紙飛行機大会

(ア) 開催形態 主催 仙台紙飛行機を飛ばす会
共催 仙台市科学館

(イ) 開催日 令和7年11月15日(土)

(ウ) 会場 シェルコム仙台

(エ) 内容 仙台市出身で紙飛行機設計の世界的権威である二宮康明氏(工学博士)の名前を冠した屋内での紙飛行機の滞空時間を競う大会。

「おえかきプレーン」部門, 二宮氏設計のキット機部門, 自由設計機部門の競技種目で行われた。無料の紙飛行機教室も同時開催した。

(オ) 来場者数 63 人



開会式の様子



紙飛行機教室の様子

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

④ せんだい防災のひろば 2025

(ア) 開催形態 主催：仙台市 (担当課：危機管理局減災推進課)

(イ) 期日 令和7年9月7日(日) 9:00～15:30

(ウ) 会場 仙台市科学館
屋外駐車場エリア，第2～4実験室，エントランスホール

(エ) 内容 はたらく車の展示や災害 VR などの体験・展示を通して，防災や災害への備えについて楽しく学ぶ。

(オ) プログラムおよび参加者数

主なプログラム

(1) 屋外ブース（はたらく車など）

- ①パトカーや高性能救助車の展示，子供用警察服の試着体験（宮城県警）
- ②自衛隊 1/2t トラックの展示，自衛隊活動の広報等（自衛隊）
- ③報道中継車の展示・乗車体験，VR 映像体験（NHK）
- ④高所作業車の体験搭乗，小型電源車の展示，子供向けの電気の体験（東北電力）
- ⑤災害復旧支援車の展示，災害伝言ダイヤル 171 の操作体験（NTT）
- ⑥ガス保安車両の展示，マイコンメーターの復帰操作体験等（ガス局）
- ⑦小型排水ポンプ体験搭乗，土のう作成体験（建設局）
- ⑧給水車の展示，災害対策 PR，給水実演（水道局）
- ⑨消防車（はしご車）の展示
- ⑩救急車や救急・資器材の展示
- ⑪住宅用火災警報器の普及・啓発
- ⑫子供用消防服の試着体験
- ⑬消防ホースでストラップ作り体験，消防缶バッジ作り体験
- ⑭計測震度計，雨量計などの観測機器や気象などに関する各種実験の実演および気象，地震，
- ⑮火山の各種情報に関するパネル展示（仙台管区气象台）



(2) せんだい災害VR体験，防災ランタン作り体験

(3) 各種体験・展示コーナー

- ① 119番通報映像サポートシステム「LiveView119」映像通報体験，応急手当体験
- ② 防災ハザードマップや一週間分の備蓄食料の展示
- ③ 災害時の心のケア啓発パネル展示

(4) スタンプラリーコーナー

参加者 13,457人（各展示ブース延べ人数）

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(2) 学会・研究会

①第30回科学講演会 「作って飛ばそう！ぼく・わたしのロケット」

- (ア)開催形態 主催：日本航空宇宙学会 北部支部
共催：東北大学流体科学研究所 航空機計算科学センター，仙台市科学館
後援：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）
- (イ)期間 令和7年8月30日(土) 13:30～16:00
- (ウ)会場 仙台市科学館 2F 特別展示室および台原森林公園
- (エ)内容 一般市民，特に小中学生を対象に実技を通じて航空宇宙に関する興味と科学技術に関する関心を高めることを目的に行う講演および科学工作教室。
- a) 講演会
 - b) ペットボトルロケット講習・製作
 - c) 自作したペットボトルロケットの打ち上げ
 - d) 表彰式
- (オ) 来場者数 52 人（参加児童 27 人，保護者等付添 25 人）



講演会の様子



ペットボトルロケット打ち上げの様子

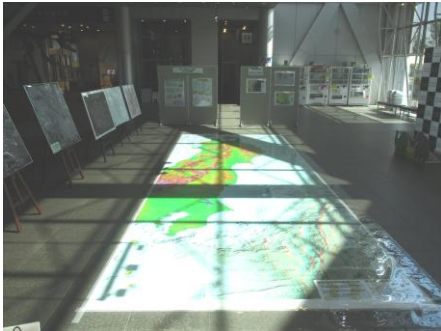
IV 事業概要

4 連携事業

(3) 専門機関

①第37回 「測量の日」記念 ― 地図と測量のミニフェスタ ―

- (ア) 主 催 「測量の日」東北地区事業推進団体協議会
第37回「測量の日」記念 地図と測量のミニフェスタ実行委員会
国土地理院東北地方測量部 (公社) 日本測量協会東北支部
(一社) 宮城県測量設計業協会 (学法) 北杜学園仙台工科専門学校
- (イ) 共 催 仙台市科学館
- (ウ) 後 援 仙台市中学校社会科研究会
- (エ) 期 間 令和7年6月7日(土) 9:00～16:00
- (オ) 会 場 仙台市科学館 エントランスホール, 特別展示室, 第3実験室, 第4実験室
台原森林公園 (科学館西側)
- (カ) 内 容
- | | |
|-----------|---|
| エントランスホール | 東北地方空中散歩マップ, 仙台市中学校生徒地図作品優秀作品
測量ゲーム (TS・シューティング) 等 |
| 特別展示室 | UAV練習機操縦体験 |
| 第3実験室 | CAD体験 |
| 第4実験室 | 地図記号クイズ |
| 台原森林公園 | GPS体験 |
- (キ) 来場者数 610名



東北地方空中散歩マップ



GPS 体験



エントランスホールでの地図展示



CAD 体験

IV 事業概要

4 連携事業

(3) 専門機関

② 放射光施設ナノテラス関連イベント「ナノテラスの日」～最先端の“光”をやさしく学ぶ～

(ア) 開催形態 NanoTerasu総括事務局との連携協定により開催

(イ) 開催日 令和7年12月 7日(土) 11:30～15:00 (連携協定調印式含む)

(ウ) 会場 仙台市科学館 3階常設展示室 チャレンジ・ラボ

(エ) 内容 NanoTerasuを通じた青少年等への科学技術に関する啓発・理解促進に資するよう、参加者の科学への関心を高め、科学的探究心や論理的思考を養えるような内容。「光」についての説明後、教育用分光器の作成を行った。そのあとに「光を使って物質を見る」ことを主題としたNanoTerasuの説明を行った。

(オ) 参加者数 65名



The poster is for the 'NanoTerasu no Hi' event, held at the Sendai City Science Museum on December 7, 2025. It features the NanoTerasu logo and the museum's name in both Japanese and English. The event is divided into two sessions: 12:00-13:00 and 14:00-15:00. The location is the 3rd floor, Challenge Lab. The poster also includes a QR code for registration and contact information for the NanoTerasu General Secretariat. A small photo shows the event's atmosphere, and a diagram illustrates the process of creating a direct vision spectrometer.

NanoTerasu HOKUSHU 仙台市科学館
「NanoTerasuの日」
～最先端の“光”をやさしくまなぶ～
NanoTerasu
仙台市科学館
2025年12月7日(日)

第1回：12時00分～13時00分 第2回：14時00分～15時00分
場所：HOKUSHU仙台市科学館3階 チャレンジラボ
※参加費無料 (ただし常設展入館券が必要です。県内小中学生は各種パスポートで無料になります。)
対象：小学3年生～中学3年生 (小学3,4年生は保護者同伴)

当日は「光」についてのわかりやすい講義と、「光」を波長毎に分けられる直視分光器の工作を通じて、3 GeV高輝度放射光施設 NanoTerasu を理解する重要なキーワードである「放射光」を身近に理解できるプログラムとなっております。是非ご参加ください！

↑詳細・申込はこちら！

工作の様子 (イメージ)

QST
お問合せ
QST
NanoTerasu 総括事務局
info@nanoterasu.jp
https://nanoterasu.jp

直視分光器を作ろう！

ポスター



連携協定調印式



会場の様子

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

① サイエンス・デイ

(ア) 開催形態 主催：特定非営利活動法人 Natural Science

(イ) 期 間 令和7年7月20日(日)
午前の部①10:00～10:30 ②11:00～11:30
午後の部③13:00～13:30 ④14:00～14:30

(ウ) 会 場 東北大学川内北キャンパス講義棟

(エ) 内 容 プログラム名「LEDを使った光る飾りをつくろう!」

(オ) 対 象 小学生以上で、各回15名(親子15組)

(カ) 来場者数 94名



LEDを使った光る飾り



教室の様子

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

② キッズエンジニア in 東北 2025 仙台（第 10 回）

(ア) 開催形態 主催：公益社団法人 自動車技術会東北支部 共催：仙台市科学館

(イ) 期日 令和 7 年 11 月 22 日(土・祝) 9:30～15:30

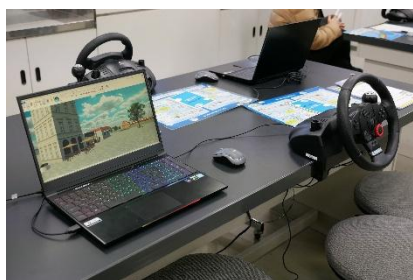
(ウ) 会場 仙台市科学館

特別展示室，第 3 実験室，第 4 実験室，市民の理科室，エントランスホール

(エ) 内容 自動車を中心とした様々な分野の科学技術や，ものづくりへの興味を高める体験型学習イベント。自動車メーカーや自動車部品メーカーのエンジニアが実践的な学びの場を提供。小学生を対象に 9 つの体験プログラムを実施。

(オ) プログラムおよび参加者数

	企業	概要	午前	参加人数
A	日立 Astemo	塩水で車が走るの？	①10:20～11:50 ②13:40～15:10	70 名
B	フォーラムエイト	バーチャル空間に町や道路を作 って運転しよう。	① 9:30～11:00 ②12:00～13:30 ③14:00～15:30	48 名
C	ダッソーシステムズ	君は未来の設計者	①10:20～11:50 ②13:40～15:10	15 名
D	本田技研工業	水素で車を走らせよう	① 9:30～10:45 ②11:45～13:00 ③14:15～15:30	47 名
E	ヤマハ発動機	ウインドカーを作ってコースを 走らせてみよう	① 9:30～11:00 ②12:00～13:30 ③14:00～15:30	49 名
F	自動車技術会 関東支部	LEGO キットカーをプログラミ ングで走らせよう	① 9:30～11:00 ②12:00～13:30 ③14:00～15:30	50 名
G	プログレス・テクノ ロジーズ	分解したラジコンを組み立てて レースしよう！	① 9:30～11:00 ②12:00～13:30 ③14:00～15:30	26 名
H	自動車技術会 東北支部	学生フォーミュラ ドライブシミュレーター	随時受付	201 名
I	自動車技術会 関東・中部支部	くるまとファンときどき風車	随時受付	91 名



IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

③ 親子電波教室

(ア) 開催形態 主催 一般社団法人 日本アマチュア無線連盟 (JARL) 宮城県支部
電波適正利用推進協議会 宮城県支部
共催 仙台市科学館

(イ) 開催日 令和7年10月25日(土)13:30～16:30

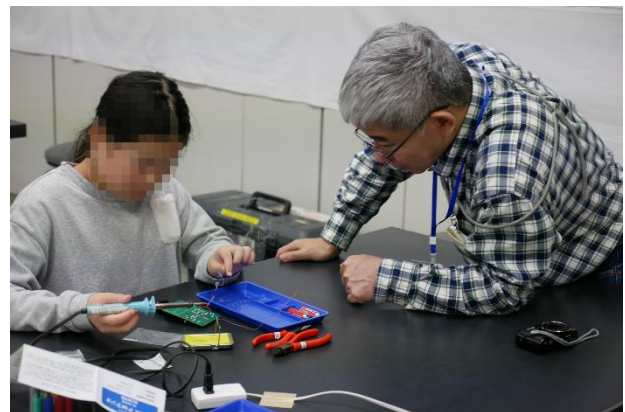
(ウ) 会場 仙台市科学館 1階市民の理科室

(エ) 内容 電波に関する講義およびFMラジオの製作を行う科学工作教室。

(オ) 参加者数 14組



電波に関する講義の様子



FM ラジオを製作する様子

IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

④ 自動車技術会連携事業

(7) 開催形態 主催：公益社団法人 自動車技術会東北支部 共催：仙台市科学館

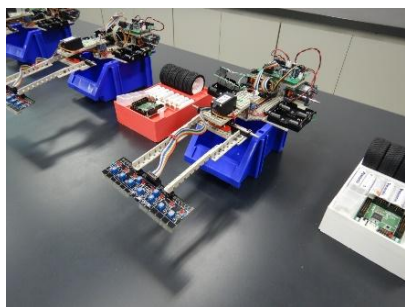
(1) 期日・事業内容

「事業名」 事業内容	期日	時間	参加 人数
「親子マイコンカーラリー体験科学教室」 小学生を対象にしたマイコンカーを組み立て、プログラミングして走らせることで、自動車の科学技術やモノづくりの興味関心を高めるイベント。	9月6日(土)	10:00～12:00 13:30～15:30	16名 (8組)
	12月13日(土)	10:00～12:00 13:30～15:30	17名 (7組)
	2月21日(土)	10:00～12:00 13:30～15:30	24名 (8組)
「3Dプリンター体験科学教室」 小学生を対象に3Dプリンターを使って燃料電池カーのリアウイングを造形し、組み立てて走らせることで、3Dプリンターやモノづくりの興味関心を高めるイベント。	5月17日(土)	10:00～12:00 13:30～15:30	20名 (8組)
	10月11日(土)	10:00～12:00 13:30～15:30	17名 (8組)
	2月24日(土)	10:00～12:00 13:30～15:30	16名 (8組)
「小学生向けフォーミュラ シミュレーター体験科学教室」 小学生を対象にドライビングシミュレーターの体験を通して、自動車の科学技術の興味関心を高めるイベント。	10月11日(土)	10:00～15:00	217名
	1月24日(土)	10:00～15:00	152名
	2月21日(土)	10:00～15:00	156名

(9) その他

自動車技術会共済行事として、11月23日(土)に、キッズエンジニア in 東北 2024を開催した。

(エ) 活動の様子



マイコンカー



3Dプリンター



フォーミュラシミュレーター

IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

⑤ 仙台市消防局イベント～ビリっ⚡と電気火災実験室～

(ア) 開催形態 仙台市消防局

(イ) 開催日 ①令和7年 8月 6日(土)～ 7日(日) 12:00～13:00

仙台市消防局presents 夏休み ビリっ⚡と電気火災実験室

②令和7年12月25日(木) 12:00～13:00

仙台市消防局presents ビリリ⚡っと電気火災実験室 Xmas special in科学館

③令和8年 3月27日(金) 12:00～13:00

仙台高等専門学校広瀬キャンパス・宮城消防署presents感震ブレーカーで電気の流れ⚡変えてみた！～地震で起きる電気火災を予防せよ in科学館

(ウ) 会場 仙台市科学館 3階常設展示室 チャレンジ・ラボ

(エ) 内容 電気火災の発生する原因やその被害について実験などを通して学ぶ教室。電気火災予防のため感震ブレーカーを紹介する。クイズ形式で防災について学ぶ教室や消防服や防火服などを着る体験なども行った。

(オ) 参加者数 259名



会場の様子



会場の様子



防災クイズの様子



クリスマススペシャル

IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

⑥ 第二管区海上保安本部イベント 「科学館で海を学ぼう」

(ア) 開催形態 第二管区海上保安本部との共催で実施

(イ) 開催日 ①令和7年 8月21日(木)～ 22日(金) 9:00～16:45

夏休み自由研究支援企画「科学館で海を学ぼう」

②令和7年11月 1日(土)～ 2日(日) 9:00～16:45

みちのく灯台150周年記念プレイベント

科学館イベント「科学館で海と灯台を学ぼう」

(ウ) 会場 仙台市科学館 3階常設展示室 チャレンジ・ラボ, エントランスホール

(エ) 内容 ①科学館リニューアル記念特別展「海と生きもの探検記」の開催にあわせ、「海を調べて、暮らし、経済、安全を守る」をテーマに、海上保安庁が行う海洋の科学的調査やその成果について紹介する体験型イベントを実施した。3D海底地形図の展示やペーパークラフト、会場保安庁キャラクターうみまるとの触れ合い、制服試着やクイズなどを実施した。

②灯台の役割を体験型イベントやパネルで紹介し、灯台の歴史、文化、役割など灯台への理解と関心を深める内容。講話や簡単なLEDで光る自分だけの灯台を作成、フレネルレンズ展示、金華山灯台をVRゴーグルで体験、会場保安庁キャラクターうみまるとのふれあい、制服試着体験やエントランスでの海上保安庁紹介パネルなど様々な展示体験を行った。

(オ) 参加者数 870名



1 回目の様子



2 回目の様子



IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

⑦せんだいスペースミッション2026

- (ア)主 催 ミヤギテレビ
(イ)共 催 仙台市科学館
(ウ)協 力 JAXA角田宇宙センター，東北大学，ARES PROJECT
(エ)開催日 令和8年2月1日（日） 9:00～15:00
(オ)会 場 仙台市科学館 3階常設展示室 チャレンジ・ラボ，エントランスホール
(カ)内 容 ①ローバー操縦体験（協力：ARES Project）
②ワークショップ 【宇宙飛行士チャレンジテスト】 ホワイトパズル・ミラーボックス
JAXAのスーツを着て記念撮影
JAXAの人に聞いてみよう！
③講演「宇宙の先にどんな未来が見える？」講師：東北大学 吉田和哉 教授
④展示 月面探査機 Moon Bots（協力：東北大学 吉田研究室）
火星探査ローバー&3Dプリンタ（協力：ARES Project）
⑤VR体験 VRコンテンツ「月光鏡」（協力：株式会社白獅子）
(キ)参加者数 1471名



月面探査機 Moon Bots



3Dプリンタ



吉田教授 講演



JAXAのスーツを着て記念撮影

IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

⑨ 仙台市交通局 「クイズで知ろう！地下鉄運転士・駅務員のお仕事」

(ア) 開催形態 仙台市消防局との共催で開催。

(イ) 開催日 令和7年 5月25日(日) 11:00～15:30

(ウ) 会場 仙台市科学館 3階常設展示室 チャレンジ・ラボ

(エ) 内容 地下鉄運転士や駅務員の業務について、クイズ形式で答える内容。また、地下鉄運転シミュレータの前で運転士の制服を着用しての写真撮影を行った。

(オ) 参加者数 110名



クイズ大会の様子



撮影体験会場



撮影体験の様子

IV 事業概要

4 連携事業

(4) 企業・NPO・学校・その他

⑨ 株式会社北洲 「住まいの科学～地震から家を守れ！～ふつうのゴムとすごいゴムのヒミツ」

(ア) 開催形態 株式会社北洲との共催で実施

(イ) 開催日 令和8年 2月 8日(日) 10:00～13:00

(ウ) 会場 仙台市科学館 3階常設展示室 チャレンジ・ラボ, キッズスペース

(エ) 内容 ワークショップ形式で参加者が実際に「高減衰ゴム」に触れ、跳ねない性質を体感し「なぜ揺れが収まるのか」の実験をととして学び、地震に対する備えが必要であることを学ぶ内容。
キッズスペースでは「フロアへの落書き」や「壁材の調湿比較」など、体験型の展示を行った。

(オ) 参加者数 43名（ワークショップ）96名（体験型展示）



ワークショップの様子



体験型展示の様子

Ⅳ 事業概要

4 連携事業

(5) SMMA連携事業

①SMMAミュージアムユニバース 2025

- (ア) 主 催 SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）
- (イ) 期 間 令和7年12月20日(土)～21日(日)10:00～18:00 全2日間
ワークショップ開催日：12月20日(土) ①10:30～12:00 ②13:30～15:00
- (ウ) 会 場 せんだいメディアテーク1階
- (エ) 内 容 仙台・宮城のミュージアムがメディアテークに集合し、ワークショップや展示などを行い、ミュージアムの魅力や情報を発信するイベントを行った。
- 当館では、展示ブースにおいては、「出張昆虫標本展」として高橋雄一氏より寄託された解説付き昆虫標本と東日本大震災以降蒲生干潟で行っている植物や地形等の継続調査についてのレポートを展示した。ワークショップにおいては、「沖縄の海砂でストラップをつくろう～クリスマス ver.～」と題して、沖縄の海砂の中から珊瑚や貝を探してストラップ製作を行った。子供から大人まで、多くの幅広い世代の方が体験した。
- (オ) 参加者数 「沖縄の海砂でストラップをつくろう～クリスマス ver.～」 182名

<ワークショップのようす>



<展示ブースのようす>

